

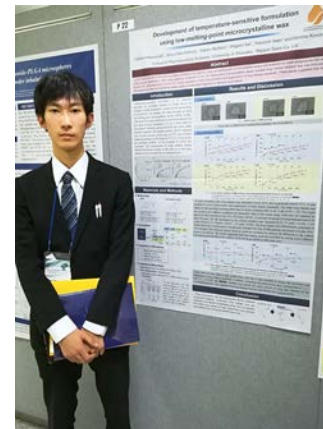
The 2nd Workshop for Korea-Japan Young Scientists on Pharmaceutics にてポスター発表

2018年7月10日から11日までソウル(韓国)の Sookmyung Women's University にて開催された The 2nd Workshop for Korea-Japan Young Scientists on Pharmaceutics に参加しました。本学会は、日韓の製剤学・生物薬剤学分野の若手研究者の交流及び研究活性化を目的としており、製剤・DDSに関する最新の知見について、発表及び議論が行われました。

私は、「Development of temperature-sensitive formulation using low-melting-point microcrystalline wax (低融点マイクロクリスタリンワックスを用いた温度感受性製剤の開発)」という演題でポスター発表を行いました。本研究では、体温付近の温度から融解し始める低融点マイクロクリスタリンワックスを用いることで、冷却することにより薬物放出を引き起こす温度感受性製剤の開発を試みました。

ポスター発表では、英語での発表ということもあり、より簡潔に、丁寧な説明を心掛けました。その結果、自分の研究に興味を持ってくださった方々から、様々な意見をいただくことができ、現状や今後の検討における課題を再確認することができました。また、予め準備していた英語だけでは、その場の質問に対して、自分の意見を上手く表現できない場面もありました。今後、海外の研究者ともより深い議論ができるよう、英語力の向上に向けてさらに精進したいと思います。

本学会から学んだ事を、今後の研究の糧にしていきたいと思えます。このような発表の機会をいただけたことに、心から感謝いたします。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 創剤工学講座
博士前期課程2年 松本亘平